日本産ニクバエ4種の種名について

On the specific names of 4 sarcophagid flies in Japan.

加納六郎¹⁾ 篠永 哲¹⁾

Rokuro KANO and Satoshi SHINONAGA

著者らは日本産ニクバエのうち、エゾニクバエ、キノシタニクバエ、シロガネニクバエ、ヒメニクバエの4種の種名を検討し、現在用いられている学名は、それぞれ下記の如くすべきものと思われたので、ニクバエ類の権威である Dr. B. B. Rohdendorf および Dr. H. S. Lopes に意見を聞き、賛意を得たので報告する。

1. エゾニクバエ *Sarcophaga jezensis* Hori, 1954

これは、*Phallantha sichotealini* Rohdendorf, 1938 の synonym である。本種の雄外部生殖器は、原記載の図と全く一致している。尚日本産の標本を命名者 Rohdendorf に送り、確認を得た。原記載は Rohdendorf, B. B. (1938) : Trans. Sikhote-Alin State Reserve, 2 : 101.

2. キノシタニクバエ *Sarcophaga kinoshitai* Hori, 1964

これは *Phallosphaera gravelyi* (Senior-White, 1964) の synonym である。本種は、Senior-White の記

1) 東京医科歯科大学医動物学教室

載ならびに外部生殖器の図とほぼ一致し、*P. gravelyi* の synonym と考えられたが、Senior-White の図が簡略な為、決定しかねていた。ところが、たまたま著者の一人加納が *P. gravelyi* の基産地と極めて近いネパールの山地にて採集した標本が、全く日本のものと一致したので、模式標本との比較はしていないが、間違いないものとする。原記載は、Senior-White (1924) : Rec. Indian Mus., 26 : 229. である。

3. シロガネニクバエ *Sarcophaga shiroganensis* Kano et Okazaki, 1956

これは、*Phallosphaera konakovi* Rohdendorf, 1938 の synonym である。本種の雄外部生殖器は、原記載の図と全く一致し、日本産の標本を命名者 Rohdendorf に送り確認を得た。原記載は、Rohdendorf, B. B. (1938) : Trans. Sikhote-Alin State Reserve, 2 : 107. である。

4. ヒメニクバエ *Sarcophaga subulata* Pandellé, 1896

加納、岡崎が *S. subulata* として Bull. Tokyo Med. Dent. Univ., 3, 1 : 79 (1956). に発表したものは、後の調査により *S. subulata* ではなく、*Pierretia pterygota* (Thomas, 1949) の記載および図に全く一致した。原記載は、Thomas (1949) : Roy. Ent. Soc. London, B, 18 : 65 である。

「医用昆虫学雑誌」の刊行状況

昨年「Journal of Medical Entomology」が刊行されたことは本誌に挿入したパンフレットなどで御承知と思うが、順調に発行をつづけ年4冊、計500頁の豊富な内容を含んでいる。1・2号の表題では、蚊の嗜好性テスト (Tempelis & Reeves), 鼠の巣の中のトゲダニ類の消長 (Mitchell), 台湾に於ける蚊の季節的消長 (Sun),

日本脳炎ウイルスの豚と蚊体内との循環 (Hurlbut) などの記事もある。購読料は1カ年個人会費2500円、ハワイのビショップ博物館の刊行となつてはいるが、日本で印刷を行つており、伝研寄生虫部にも事務所がある。予研昆虫部でも御申込みがあれば御世話をするつもりである。
(予研 朝比奈)